



石川 栄子 議員

今すぐやるべき子育て支援策は!?

子育て支援について

議員

子どもの医療費について、当市では、中学3年生までの医療費助成制度が実現し、さらに所得制限なしで、入院時も1回3000円、そして月30000円で済むようになってきている。お母さんたちの声を受け、高校卒業するまでの医療費助成制度の導入を求めるが、その考えはあるか。

保健福祉部長

少子化対策の一環として、患者負担分を公費で負担することは、大変重要なことと考えている。ぜひ常総市としても前向きに検討していきたい。

議員

高校卒業まで、外来と入院の両方あわせて、所得制限なしでお願いしたい。新年度での実施を期待するがどうか。

市長

医療費助成制度は重要な政策であり、新年度予算でぜひ検討していきたいと考えている。

議員

給食費については、子どもが2人、3人いると大きな負担で



問 答 JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI 問 答

議員

あり、給食費滞納はいじめの原因になることもある。子どもの貧困率は過去最悪で、6人に1人の子どもが貧困家庭である。義務教育を無償とする憲法26条の精神から言えば、給食費も無料にすべきではないか。

教育部長

教食費の無料化は財政的に現状では難しい。

ほかでやっていないときにやるべきである。早急に無料化した方が人口増につながる。まず市でやれることをやる、そして県でやれることをやる、それが国を動かしていく。それが私たち市議会議員の役割でもある。「給食費無料化は国でやるべき」と言っても、市でやれることから始めてみる必要がある。

遠距離通学費、補助の実現へ



三妻小学校の遠距離通学児童に対する通学費の負担軽減の市の方針について



遠距離通学児童

金子 晃久 議員

ただくともにも、保護者からの要望書も受け取っていたが、公共交通が十分に整備されていない地域の現状等を踏まえると、なかなか実施には至っていない。しかし、遠距離通学児童に対する通学費の支援策については、交通機関等を利用して通学する児童生徒の保護者に通学費等の経費の一部を補助することにより、経済的負担の軽減を図ることを目的に多くの自治体で実施しているのが現状である。常総市においても、27年度から実施できるよう、現在要綱等の検討を進めているところである。

議員

三妻小学校は、文部省で定められた遠距離通学児童の定義、いわゆる4キロ以上の生徒がとりわけ多い。菅原小学校と三妻小学校において、この数字がとりわけ多いのが現状である。

まさに今、我々が求めている答えが返ってきたと私は確信をしている。署名活動を通じて通学費の負担減を求めてきた122名の三妻小学校の御父兄、またその関係者になりかわり、感謝を申し上げたい。

教育部長

再三にわたり、今般まで遠距離通学者の負担の軽減を求めて来た。今こそ明確な回答を求めているのか、やらないのか。

これまで何度も一般質問の中で支援策の整備実現の提案をい